

9月1日

1923 (大正 12) 年

パニック！
新聞報道 2 か月半

残部

1組

(2025.8)

迫力の
大紙面
100 年前が
眼前に！

関東大震災

全 2 巻

いま 歴史からの教訓！
保存・継承 そして
いざという時の
備えとして……



広げればA2判！

(大空社 1992 年 8 月刊)

学術資料出版
大空社出版

www.ozorasha.co.jp

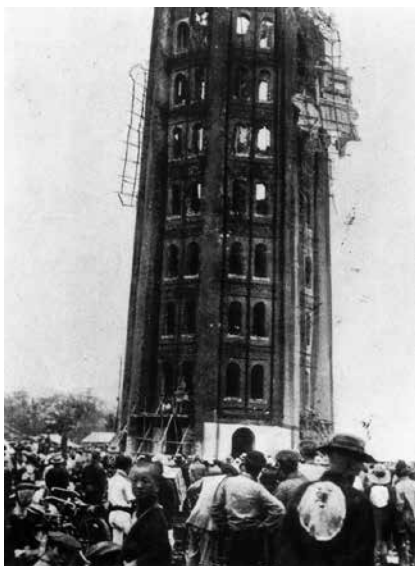
1923（大正12）年9月1日 関東大震災が起きた日から 2か月半後、戒厳令が撤廃された11月16日までの 全国の新聞（延べ37紙）・官報等を分類・整理し収録。

関東大震災がもたらした
社会の変動が
迫力の紙面から
手に取るように読み取れる
歴史の第一級資料

- * 日に何度となく発行された号外は、混乱と動揺、まさにパニックの実態を赤裸々に伝える。
- * 震災後に起きる様々な問題（衣食住、銀行預金の支払い停止、火災保険、商品価格の暴騰と下落、教育問題、復興資金、労働問題等）は、汲めども尽きぬ歴史的教訓を今日に示唆してくれる。

〈資料・解説〉

- * 震災当時の新聞報道の実態をわかりやすく解説した「関東大震災と新聞」（新聞資料ライブラリー代表（刊行時）・羽島知之）掲載（上巻）。
- * 本集成収録記事をベースとした「新聞に見る震災後の社会の主な動き」を掲載、「政治・経済」「生活・文化・世相・時事」「その他」の3ジャンルに分け、日を追って震災後の変化がわかるようにした（下巻）。



凌雲閣



上野大仏





上 激震・関東大震災の日

大震災に関連する『官報』、公報の『震災彙報』、全国の主な新聞社が頒布した『号外』『附録』『帝国大学新聞号外』、大正12年9月1日から5日までの全国の主な新聞社の朝刊・夕刊、及び震災の被害を受けた主な中央紙の復興後の記事を収録。パニックの実態速報。

【上巻 収録紙】

〔官報〕

官報号外 9/2~5

官報 9/4

官報公告 9/5

〔震災彙報〕

震災彙報 9/4~10/23

〔号外〕

大阪毎日新聞号外 9/1~16

小樽新聞号外 9/2~10

大阪朝日新聞号外 9/2~9

九州日報号外 9/2~9

福岡日日新聞号外 9/2~16

下越新報附録 9/3

新愛知号外 9/3.4

大阪毎日新聞名古屋附録号外 9/3~7

京都日出新聞附録 9/3.5

大阪毎日新聞山陽号外 9/3

大阪毎日新聞福岡号外 9/3~6

京城日報号外 9/3.4

名古屋新聞号外 9/4.6

名古屋毎日新聞号外 9/4.6

軍港新聞号外 9/4

東京日日新聞号外 9/5

大阪朝日新聞附録 9/5~9

国民新聞号外 9/7~10

読売新聞号外 9/7~10

北海タイムス号外 9/8

大阪毎日新聞附録西部毎日号外 9/8~20

東京朝日新聞号外 9/10.11

荘内新報号外 1~23 報

鶴岡日報号外 1点（日付号数無）

帝国大学新聞号外 9/30.10/14

新聞資料ライブラリー監修

関東大震災

全2巻

（大空社 1992 年 8 月刊）

シリーズその日の新聞



下 戒厳令撤廃までの76日

関東地区の新聞社の中で、震災による被害が比較的少なかった『報知新聞』『東京日日新聞』の大正12年9月5日から、戒厳令が撤廃された11月16日までの記事を収録。震災後に起きる様々な問題が報じられている。

【下巻 収録紙】

報知新聞 9/5~30

東京日日新聞 9/6~11/16

〔全国主要新聞：9/1 夕刊～9/5 夕刊〕

大阪時事新報 9/1 夕刊～5 夕刊

大阪毎日新聞 9/1 夕刊～5 夕刊

小樽新聞 9/2~5

京都日出新聞 9/2~5 夕刊

大阪朝日新聞 9/2 夕刊～5 夕刊

静岡民友新聞 9/3~5

大阪毎日新聞京都滋賀附録 9/3.4

大阪新日報 9/3 夕刊.4 夕刊

駿遠日報 9/4

新愛知 9/4

日本織物新聞 9/4.5

大阪毎日新聞東京新聞代用 9/4 夕刊

信濃毎日新聞 9/5.5 夕刊

静岡国民新聞 9/5

大阪今日新聞 9/5

〔被害を受けた中央紙の復興後の新聞〕

都新聞 9/8

万朝報 9/11

時事新報 9/12

東京朝日新聞 9/12

読売新聞 9/12

国民新聞 9/14

中外商業新報 9/15

二六新報 9/25

残部
1組
(2025.8)

いまだから
すべての人に
手にしてほしい

【大衆朝日新聞特別】 第1号 大正12年9月4日



さながら当日の新聞を手取るような
迫真の紙面が展開

帝都の寫眞を齎して
大阪への第一急使

東京朝日新聞記者福馬謙造着す
徒歩にて震災の東海道を縦走

[illegible]

東明王 推遷命令

夏、肝は急を猛火に比

[illegible]

遂に東牙を脱出して得た

藝民が杖又は蓑を持ち出して僅かに取出した家財道具の傍に恐怖一傑佇つてゐる。打鎗、猛火は新宿に傳つてゐた。

[illegible]

午前零時平塚に入る

野田記者と別れて

つて家だ、家は殆んど倒壊してゐた平塚町でも同町郊外の海岸大車が一日正午發動して三十餘名の死者を出し、同時に死者は十五六名の戦艦の死傷者を出した。では是等の話が町民に誤さぬ様に傳へて、同時に海邊の米を一時喰ひ、全町民は殆んど同時に落つて漸く二正午から揺れる様に一日の平家を震へ大變に狂く間は殆んど濡れた家は一軒も無かつた。此の世に大變に入ると共に多少の自動車を走らせたが、大變自動車を通行したこの車庫には既に集つた四十名の人の人が物々しく呻吟してゐた。

愈よ徒歩で大幾かの

千辛萬苦、死の道を辿る

[illegible]

貨車内の假睡から

目覺めて單身箱根越し

上り貨物列車が、一帯の如く幾何學上の螺旋から脱
離して横ばに曲つてゐる、五十餘兩の貨物車の中か
ら肥料や紙束等が投げ出されてゐたが内八兩ばかり
は煤油が積んであり五十餘兩の煤油が生ゝ生ゝ泉を
噴き出した。此の諸人男の水を吸へる者ゝ、此の
煤油も既にして大穴を穿つる糧食を喰へたのである。下
り貨物列車の鐵道は、全大波の如く、波瀾形に地を穿
ち、鐵路は下り相対する程だ。この險状は、
山北、路崎、酒川、富三、三ノ本は山崩れのため全く
打ち潰れてゐる。通過するには、屏風の様な路なき山を
下らねばならぬ。一、二時を以て通行は全く不可能
とされてゐる。幾何學上の螺旋形、手前まで進行する意氣

命辛々御殿場に着

時に三日午後四時

機今朝飛來

大阪の救援報告書を齎

大阪より東京に向ふ

此書之編纂者王士禛也。王士禛字子真，號漁洋山人，山東新城人。康熙年間，官至刑部尚書。其詩文名震一時，有「漁洋詩宗」之稱。此書之編纂，旨在彙集當時之詩話，以供後人參考。全書共十卷，分門別類，條目清晰。內容豐富，涵蓋了當時詩壇之盛況、詩人之間之交遊、以及詩論之爭鳴。此書不僅是研究清初詩史之重要文獻，亦是了解當時文壇風貌之絕佳讀本。

機配屬

卷之二十一

本號外は本紙に再録せず

大阪朝日新聞發行

新聞各頁はA2判を二つ折りにした折り込み

号外は原寸大、他新聞等は70～80%に縮小して収録

420 mm

大朝日新聞 號外 第二

大阪 電話

高田師團に勅令

高田師團に勅令。同師團は連日暴風雨に襲われ、温度百五十度に及ぶ。...

戒嚴令益嚴重

戒嚴令益嚴重。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

非常徴發令

非常徴發令。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

横濱市は無警察状態

横濱市は無警察状態。横濱市は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

建築材料運送命令

建築材料運送命令。建築材料の運送は、益々厳格に管理されてゐる。...

發行所

發行所。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

販賣所

販賣所。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

九州日報 第一號外 大正十二年九月二日

昨日午後の東京市

昨日午後の東京市。小石川牛込四谷の一部を、偵察飛行で判明。東京も尚延焼中。...

偵察飛行で判明

偵察飛行で判明。東京も尚延焼中。小石川牛込四谷の一部を、偵察飛行で判明。...

全通信省

全通信省。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

一日午後一時

一日午後一時。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

親儀式舉行

親儀式舉行。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

昨日午後迄の東京

昨日午後迄の東京。東京市内に進入を禁ぜられて、市内は益々戒嚴状態に陥つてゐる。...

宮城の各御門被害

宮城の各御門被害。宮城の各御門は、益々被害を受けてゐる。...

沼津強震

沼津強震。沼津市は、益々被害を受けてゐる。...

累々たる惨死體

累々たる惨死體。沼津市は、益々被害を受けてゐる。...

山北群の惨況

山北群の惨況。沼津市は、益々被害を受けてゐる。...

長野縣下各地被害

長野縣下各地被害。長野縣下各地は、益々被害を受けてゐる。...

死傷者も数多い

死傷者も数多い。長野縣下各地は、益々被害を受けてゐる。...

高岡と水戸の惨況

高岡と水戸の惨況。高岡と水戸は、益々被害を受けてゐる。...

名古畑大堤被害

名古畑大堤被害。名古畑大堤は、益々被害を受けてゐる。...

高岡と水戸の惨況

高岡と水戸の惨況。高岡と水戸は、益々被害を受けてゐる。...

名古畑大堤被害

名古畑大堤被害。名古畑大堤は、益々被害を受けてゐる。...

高岡と水戸の惨況

高岡と水戸の惨況。高岡と水戸は、益々被害を受けてゐる。...

名古畑大堤被害

名古畑大堤被害。名古畑大堤は、益々被害を受けてゐる。...

高岡と水戸の惨況

高岡と水戸の惨況。高岡と水戸は、益々被害を受けてゐる。...

名古畑大堤被害

名古畑大堤被害。名古畑大堤は、益々被害を受けてゐる。...

高岡と水戸の惨況

高岡と水戸の惨況。高岡と水戸は、益々被害を受けてゐる。...

名古畑大堤被害

名古畑大堤被害。名古畑大堤は、益々被害を受けてゐる。...

↑日に何度となく「号外」を発行

←「震災義金」全国から続々と

関東大震災 上

激震・関東大震災の日

19. 昭和新聞 大正12年9月10日夕刊

番安のいば一紙貼合の尋が弟兄子親の明不死生
を生一に死九てん込に堂音親の草浅
容取一院病を者病傷た得



夕報新聞
一部 賣
定價二支

大震災後の帝都に最初の新聞

この天譴を前に銘じ
大東京の再造着手
連日 夏の救済策に入

大震災後の帝都に最初の新聞
この天譴を前に銘じ
大東京の再造着手
連日 夏の救済策に入

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

註内新報外號
九死に一生を得て
東京震災情報
動物悉く統殺
大臣の横濱訪問

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

註内新報外號
兩大使御去
早稻田大學焼失
大學病院に延焼
不逞鮮人益々擴大
井上重之助氏入閣



大震災後の帝都に最初の新聞
この天譴を前に銘じ
大東京の再造着手
連日 夏の救済策に入

残部
1組

(2025.8)

未曾有の災厄から1世紀

1923.9.1
大正12年

迫力・迫真の大紙面で
記憶を鮮明に留める！



上 激震・関東大震災の日
下 戒厳令撤廃までの76日

○お断り○ 本の状態について

本書は刊行年が古い（約30年前）、カバー・表紙・見返し等に経年による劣化が見られますが、本文は良好で閲覧に支障はありません。

■ A3判（297×420^{5/8}） 横長・各巻約400頁
上製角背・カバー装

ISBN 4-87236-249-7（大空社1992年8月刊）

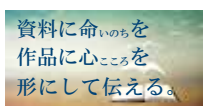
定価38,446円（本体34,951円＋税10%）

〈シリーズその日の新聞〉

新聞資料ライブラリー監修

関東大震災

全2巻



学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

eigyo@ozorasha.co.jp

TEL:042-306-3383 FAX:042-306-3384

〒189-0001 東京都東村山市秋津町 5-24-13-101